

2009年度名古屋大学大学院法学研究科
博士課程(前期課程)総合法政専攻国際法政コース

『アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム』

「日本語による法学教育クラス」

2009年10月入学

外国人留学生募集要項

Application
for the ‘Legal Education through Japanese Classes’
Personnel Development Program Contributing to Asian Legal Assistance

LL.M. (Comparative Law) Program in Law and Political Science
for International Students

Nagoya University Graduate School of Law, Japan

October Enrollment
Academic Year of 2009

2009年度名古屋大学大学院法学研究科博士課程(前期課程)総合法政専攻 国際法政コース「日本語による法学教育クラス」の概要と募集

はじめに

本研究科は、本研究科が組織として開始したアジアの体制移行国や発展途上国における法整備事業の担い手を育成することを目的とし、1999年に英語による留学生特別コース(現在の博士課程「国際法政コース」)を設置し、英語で法学教育・研究指導を行ってきましたが、2007年度から、それを再編し、「アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム」として、国際法政コース「英語による法学教育クラス」および「日本語による法学教育クラス」の2クラスを設けることとしました。

従来の英語によるプログラムは、「英語による法学教育クラス」に継続されますが、「日本語による法学教育クラス」は、本研究科「日本語の堪能な法律専門家の長期育成」事業*として海外に設置した日本法教育研究センターの修了生に、本研究科での教育の機会を与え、日本語によって日本法を理解することのできる専門家を、継続的・組織的に育成することを目的としています。同目的の下に、ここに、国際法政コース「日本語による法学教育クラス」への入学者を募集し、その選抜を実施します。なお、その選抜における上位合格者2名の外国人留学生は、日本政府奨学金(国費)の候補者として、本研究科から文部科学省に推薦されます。

*「日本語の堪能な法律専門家の長期育成」事業は、海外の協定大学内に、名古屋大学日本法教育研究センターを設置し、同センターで、当該大学の学部学生から選抜された学生(定員20名)を対象に、卒業時までには日本語能力検定1級ないし2級に合格することを目標とする日本語の教育を行うとともに、日本語の学習がある程度進んだ段階から、日本語による日本法の教育を行うというものです。同センターは、2005年にウズベキスタンのタシケント国立法科大学に創設され、2006年9月にはモンゴル国立大学法学部に、2007年9月にはベトナム・ハノイ法科大学内に設置され、さらに、本年2008年9月には、カンボジア・王立法紀大学内に設置される予定です。

募集方法、募集対象国

本コース「日本語による法学教育クラス」の設置目的に沿って、名古屋大学又は本研究科と学術交流協定を締結しているこれらの国の法律専門家養成機関に設置された名古屋大学日本法教育研究センターにおける学習歴が3年以上の者で、法律学・政治学の大学教育を修了した者を対象として、募集します。

修了要件と取得学位

国際法政コースへの入学者は、修士(比較法学)の学位を取得するための学位取得要件を満たすことが求められます。また、博士課程(後期課程)への入学者は、博士(比較法学)の学位を取得するための要件を満たすことが求められます。

使用言語

同コースの英語による教育指導を受ける留学生には、講義・論文作成指導を英語で実施しますが、「日本語による法学教育クラス」の留学生には、日本語による教育を行います。ただし、日本語による法学教育クラスを選択している者についても、帰国後、母国の法整備事業において国際的なネットワークが重要となることから、国際共通語としての英語による文献読解能力およびコミュニケーション能力が求められます。

出願にあたって

本大学院入学後は、日本語による授業を受けるとともに、指導教員の研究指導を受けながら修士論文を執筆しなければなりません。したがって、十分な日本語能力とともに、2年間で、特定の研究課題に関する修士論文を完成させるだけの能力を備えている必要があります。以上の趣旨から、応募では、修士論文執筆を念頭に入れた具体的な研究課題を示していただく必要があります。出願書類の中の研究計画(Research Plan)の欄には、修士論文として完成させる具体的な研究課題を示し、その課題に行き当たった、あなたの問題意識、研究課題の詳しい内容、研究の進め方を記載してください。

研究課題の特定に当たっては、名古屋大学法学部・大学院法学研究科のホームページ(<http://www.law.nagoya-u.ac.jp> (日本語)、または、<http://gsl-nagoya-u.net> (英語))の教員一覧を参照してください。

**2009 年度名古屋大学大学院法学研究科博士課程(前期課程)総合法政専攻
国際法政コース
『アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム』
「日本語による法学教育クラス」
外国人留学生募集要項**

本募集要項は、本研究科国際法政コース「アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム」への入学を希望する外国人留学生を対象とするものです。

なお、本プログラムに出願し、「日本語による法学教育クラス」に選抜された上位合格者2名は、日本政府文部科学省の奨学金(国費)候補者として本学より推薦されることとなります。したがって、本コースへの募集では、国費奨学金の候補者としての選抜もあわせて実施いたします。

1 出願資格

1) 次の各号の一に該当する者で、日本国籍を有しない者

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2009年9月30日までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2009年9月30日までに修了見込みの者
- (3) 日本の大学を卒業した者及び2009年9月30日までに卒業見込みの者
- (4) 独立行政法人大学評価・学位授与機構(旧学位授与機構)において、学士の学位を授与された者及び2009年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程(その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(注)上記「1 出願資格」(8)により出願する者は、2008年12月2日(火)までに法学研究科入試担当へ問い合わせをすること。

2) 国際法政コース(日本語による法学教育クラス)への出願資格

上記の出願資格に加え、以下の要件すべてを満たす者であること。

- (1) 日本語能力試験2級以上、又は、それと同程度の日本語能力を有する者(選抜においては、1級が優先される。)
- (2) 日本法教育研究センターでの学習歴3年以上の者

2 募集人員及び対象者

総合法政専攻 35名(研究者養成コース及び応用法政コースの募集人員を含む)

3 出願書類

- (1) 入学志願データシート
- (2) 2009年度名古屋大学院法学研究科総合法政専攻国際法政コース学生申請書 (Form No.1-1)
- (3) 日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書(別紙) (Form No. 1-2)
- (4) 専攻分野及び研究計画(日本語により作成すること) (Form No. 2)
- (5) 最終出身大学の卒業証明書(又は、卒業見込証明書)、証明された学位記等(又は、学士授与見込証明書)
- (6) 最終出身大学の成績証明書(最終出身大学における成績が明確に判る指標が示されていること)
- (7) 最終出身大学において優秀であることを証明する学業成績 (GPA、ABCのクラス分けおよび具体的な順位(何人中第何位)等)
- (8) 日本語能力証明書(「日本語能力試験2級以上」に準ずる日本語能力を有することを証明するもの)
- (9) 英語能力証明書(語学能力、専門能力を客観的に示す材料。例えば、TOEFL、TOEIC、又は、語学能力評価書 (Form No.3))参考まで。
- (10) 日本法教育研究センターでの在籍証明書(学習歴を証明するもの)
- (11) 所属大学等の研究科長レベル以上の者が作成したもので、本学学長宛の推薦状。在職者については、実務上の経験及び能力に関する推薦書で、勤務先の長等が作成したもの(日本語又は英語で記載すること。(Form No.4))
- (12) 写真2枚(縦6cm×横4cm、上半身脱帽、正面写し、最近6か月以内に撮影したものを申請書所定の場所に貼付すること)
- (13) 研究上の実績・能力を示す公表された著書、論文、報告書等があれば、その論文内容の概要等、その論文内容を簡潔にまとめたものを作成し、添付すること。
- (14) 健康診断書 (Form No.5)
- (15) 辞退届/Notice to Withdraw (Form No.6) 本研究科での選抜に合格し、合格通知を受け取った後、本研究科への入学を辞退する者は、2009年3月19日(木)までに、辞退届を本研究科に提出すること。
- (16) 本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書(パスポートの写し等、国籍を確認できる証明書)
- (17) 連絡用シール

注意事項:

- (1) これらの書類は、日本語又は英語のいずれかにより、A4サイズに統一して作成すること(その他の言語により作成されている場合は、日本語又は英語による訳文を添付すること)。
- (2) 提出書類は、一切返却しない。
- (3) 申請書類が不備な場合や、提出期日を過ぎたものは、一切受理しない。

4 出願手続

願書受付期間: 2009年1月30日(金)16時まで(必着のこと)。

出願先: 日本国 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院法学研究科入試担当

5 選抜方法および試験日程

本研究科による選考は、書類審査および面接により行う。

- (1) 書類審査: 提出された研究計画書、推薦書、成績証明書、語学能力証明書等の書類を総合的に審査する。書類審査の合否結果は、2月中旬に、推薦機関および本人宛に通知する。
- (2) 面接: 面接は、2009年2月中旬以降、書類審査合格者について、日本語により、行う。面接は、主に、各人の研究計画について行う。

6 面接選考結果

2009年3月末に、本人宛に通知する。

なお、本コース「日本語による法学教育クラス」への上位合格者2名については、日本政府奨学金(国費外国人留学生)の候補者として、日本国文部科学省に推薦することとする。このことについては、下記の「大学推薦による国費外国人留学生(研究留学生)の募集について(MEXT奨学金への応募)」を参照のこと。

MEXT奨学金への採用結果は、2009年7月に本人宛に通知する。

7 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知書の送付とともに通知する。指定の日時に入学手続を行わない場合は、本研究科への入学を辞退したものと取り扱うので十分注意すること。

入学手続時には、入学金等の納入をすること。

- 入学金 282,000円(予定額)
- 授業料 前期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

なお、日本政府文部科学省の奨学金(MEXT奨学金)に採用された者は、上記入学金・授業料の納入は免除される。

注意事項:

- 入学時又は在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用される。
- 入学金は入学手続時に、半期分の授業料を10月に納入すること。納入済の入学金及び授業料は返還しない。
- 本研究科には、入学金・授業料の免除・徴収猶予の制度があるので、私費留学生で希望する場合は、入学金・授業料を納入せずに、入学手続時に申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請すること。
- 出願期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び入学検定料の返納はしない。
- 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学許可を取り消すことがある。

8 個人情報の取り扱い

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき、適切に管理する。
- (2) 出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続業務を行うために利用する。
- (3) 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。また、入学者についてのみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

9 その他、照会先等について

- 入学試験・募集要項に関する照会先:

住所: 日本国、〒464-8601、名古屋市千種区不老町 B4-5(760) 名古屋大学大学院法学研究科入試担当

本研究科のカリキュラム、スタッフ等に関する情報:

名古屋大学法学部・法学研究科のホームページ (<http://www.law.nagoya-u.ac.jp>)、または、英語によるホームページ

(<http://gsl-nagoya-u.net>)を参照すること。

- 募集要項の取り寄せ:

原則として、本研究科と学術交流協定を締結する機関を通して募集要項を取り寄せること。

2008年10月
名古屋大学大学院法学研究科

2009 年度大学推薦による国費外国人留学生(研究留学生)の募集について (日本政府文部科学省奨学金への応募)

文部科学省が募集する、大学推薦による国費外国人留学生(研究留学生(特別枠))に応募する者は、下記の応募者資格及び条件等を参照すること。

注意: 2009 年度同奨学金の募集において、下記の内容に変更がある場合は、2008 年 12 月末に通知することとする。

1 応募者の資格及び条件

- (1) 対象: 大学院レベルの外国人留学生として、新たに海外から留学する者で、大学間交流協定に基づき相手国大学から正式に推薦を受けた者。
- (2) 国籍: 平成 21 年 4 月 1 日現在、日本政府が承認している国の国籍を有する者。
- (3) 年齢: 1974 年 4 月 2 日以降に出生した者。
- (4) 学歴: 日本の大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力を有する者。
- (5) 専攻分野: 大学で専攻した分野又はこれに関連する分野(受入大学で教育・研究指導が可能な分野であること)。
- (6) 健康: 心身ともに大学における学業に支障がないこと。
- (7) 日本語能力: 例えば、日本語学、日本文学、日本歴史、日本法制等、十分な日本語能力を必要とする研究分野については、日本語能力の不十分な者は、特別の事情がない限り採用しない。
- (8) 渡日時期: 平成 21 年 10 月 1 日～7 日までの間で、受入れ大学の指定する期日に必ず渡日可能な者。渡日できない場合は、渡日旅費及び渡日一時金は一切支給しない。
- (9) その他: 次に掲げる者については、採用しない。
 - ① 現役軍人又は軍属の資格の者。
 - ② 指定の期日に渡日できない者。
 - ③ 過去に国費外国人留学生であった者については、帰国後 3 年以上の教育・研究等の経験のある者でなければ、本奨学金への推薦の対象とはならない(ただし、大学学部を卒業した日本語・日本文化研修留学生、及び日韓共同理工系学部留学生については、研究留学生として応募する場合はこの限りではない)。
 - ④ 日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関含む)から奨学金等を受給する者。
 - ⑤ 本奨学金における他大学との重複申請、日本政府(文部科学省)及び(独)日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度に併願している者。(これまで日本政府(文部科学省)及び(独)日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度に採用され、引き続き平成 21 年度に在籍予定の者も含む。)
 - ⑥ 平成 20 年度に私費外国人留学生として本邦大学に在籍予定の者。

2 採用予定数: 日本全体で、900 名。(2008 年度募集)

3 奨学金等

- (1) 奨学金: 月額 170,000 円(渡日後 13 月目以降は 160,000 円。なお、予算の状況により金額が変更となる場合もある。ただし、大学を休学又は長期に欠席した場合は、奨学金は支給されない。)を支給する。
- (2) 授業料: 当該大学の負担とする

(3) 旅費

- ① 渡日旅費： 渡日する留学生の「居住地」(原則として申請書に記載された現住所とする)最寄りの国際空港*から所属大学が通所の航路で使用する国際空港までの下級航空券を交付する。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港あまでの旅費、空港使用料、空港税、渡航に要する特別税などは自己負担とする。
- ② 帰国旅費： 奨学金支給期間終了月内に帰国する者については、所属大学が通常の経路で使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港*までの下級航空券を交付する
*留学生が国籍を有する国の空港に限る。

(4) 奨学金支給期間： 平成 21 年 10 月から平成 23 年 9 月までの 2 年。

なお、大学における教育研究指導の観点からこれによりがたい時期に採用される者については、文部科学省が別途指定する期間とするが、1 年以内の期間は認めない。

(注) 所定の選考を経て、特に優秀な者に限り奨学金支給の延長を認めることがある(特に優秀でない場合は認められない)。また、大学院博士課程に進学を希望する場合、他大学への進学は認めない。以上のほか、(独)日本学生支援機構が実施する渡日一時金(25,000 円(予定))、医療補助費がある。

4 応募書類

応募書類については、上記、名古屋大学法学研究科国際法政コース「日本語による法学教育クラス」への出願書類と併用する(ただし、同奨学金への推薦候補者として選抜された場合、別途、必要書類の提出を求めることがある。)

5 推薦手続き及び選考

- 推薦： 各大学長は、特に優秀な者で奨学金の支給を必要とする者を、大学での審査の上、別紙様式により必要書類を添えて文部科学大臣に対し推薦する。推薦の際には、候補者が特定国に偏ることのないよう、特に配慮すること。
- 選考： 各大学長から推薦された者のうち、選考委員会の審査により採用候補者を決定し、これに基づき、文部科学大臣は、奨学金支給給付者及び支給期間を決定する。なお、候補者決定後は、各大学長は、各在外公館と連絡を取るよう採用候補者に指示すること。
- 対象国： 日本国と国交のある国とする

6 結果通知

平成 21 年 7 月初旬までに、文部科学省は、各大学長宛に文書をもって通知を行う。

7 注意事項

次の場合には、原則として奨学金の支給を取り止められる。

- ① 申請事項に虚偽が発見されたとき
- ② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき
- ③ 大学において、懲戒処分を受けたとき、若しくは成業の見込みがないと判断されたとき。
- ④ 当該大学院を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
- ⑤ 在留資格「留学」が他の在留資格に変更になったとき。
- ⑥ 日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関含む)から奨学金等を受給したとき。
- ⑦ 留学生が休学し、又は長期に欠席した場合は、その期間中奨学金は原則として支給しない。

FORM FOR ADMISSION ON THE LL.M. (COMPARATIVE LAW) PROGRAM
IN LAW AND POLITICAL SCIENCE FOR INTERNATIONAL STUDENTS, 2009
2009年度名古屋大学大学院法学研究科総合法政専攻国際法政コース学生申請書
APPLICATION FOR JAPANESE GOVERNMENT (MONBUKAGAKUSHO: MEXT) SCHOLARSHIP
日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書
Research Student for 2009（研究留学生）

INSTRUCTIONS（記入上の注意）

1. The application should be typewritten if possible, or neatly handwritten in block letters.（明瞭に記入すること。）
 2. Numbers should be in Arabic figures.（数字は算用数字を用いること。）
 3. Year should be written in the Anno Domini system.（年号はすべて西暦とすること。）
 4. Proper nouns should be written in full, and not be abbreviated.（固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。）
- * Personal data entered in this application will only be used for scholarship selection purposes, and contact information such as e-mail addresses will only be used for forming related human networks after the student returns home and for sending of information by the Japanese Government.)
(本申請書に記載された個人情報については、本奨学金の選考のために使用するほかは、特に E-mail アドレス等の連絡先については、帰国後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ日本政府より各種情報を送信する以外には使用しない。)

1. Name in full, in native language _____ , _____
(姓名 (自国語)) (Family name) (First name) (Middle name) (Sex)
 Male (男)
 Female (女)
- In Roman block capitals _____ , _____
(ローマ字) (Family name) (First name) (Middle name) (Marital Status)
 Single (未婚)
 Married (既婚)

2. Nationality _____
(国 籍)

3. Date of birth (生年月日)
19 _____
Year (年) Month (月) Day (日) Age (As of April 1, 2009) (年齢 2009年4月1日現在)

4. Present status: with the name of the university attended, or of the employer
(現職 (在学大学名又は勤務先名まで記入すること。))

Institute : _____
Department : _____
Title : _____

5. Present address and phone number, facsimile number, e-mail address
(現住所及び電話、ファックス番号、E-mail アドレス)

現住所 (Present address): _____

電話番号/FAX番号 (Telephone/Facsimile number): _____

E-mail address: _____

* If possible, write an e-mail address that can be used for periods including the time before you come to Japan, your stay in Japan and the period after you return home.
(可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想される E-mail アドレスを記入すること。)

6. Field of study specialized in the past (Be as detailed and concrete as possible.)
(過去に専攻した専門分野 (できるだけ具体的に詳細に書くこと。))

Paste your passport-size photograph taken within the past 6 months.
Write your name and nationality in block letters on the back of the photo.

写真 (6 cm × 4 cm)

7. Educational background (学歴)

	Name and Address of School (学校名及び所在地)	Date (month & year) of Entrance and Completion (入学及び卒業年月)	Period of schooling you have attended (修学年数)	Diploma or Degree awarded, Major subject (学位・資格、専攻科目)
Elementary Education (初等教育) Elementary School (小学校)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/ year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/ year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Secondary Education (中等教育) Lower Secondary School (中学)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/ year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/ year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Upper Secondary School (高校)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/ year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/ year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Higher Education (高等教育) Undergraduate Level (大学)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/ year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/ year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Graduate Level (大学院)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/ year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/ year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Total years of schooling mentioned above (以上を 通算した全学校教育修学年数)			____ years (年)	

* If the blank spaces above are not sufficient for information required, please attach a separate sheet.

((注) 上欄に書ききれない場合には、適当な別紙に記入して添付すること。)

8. State the titles or subjects of books or papers (including graduation thesis authored by the applicant), if any, with the name and address of publisher and the date of publication.

(著書、論文(卒業論文を含む。))があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記すこと。)

* Please attach abstracts of those papers to this application.

((注) 論文の概要を添付のこと。)

9. Employment Record: Begin with the most recent employment, if applicable. (職歴)

Name and address of organization (勤務先及び所在地)	Period of employment (勤務期間)	Position (役職名)	Type of work (職務内容)
	From month / year _____ / _____ To month / year _____ / _____		
	From month / year _____ / _____ To month / year _____ / _____		

10. Japanese language proficiency: Evaluate your level and fill in with an X where appropriate in the following blanks.

(日本語能力を自己評価のうえ、該当欄にX印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
Reading (読む能力)				
Writing (書く能力)				
Speaking (話す能力)				

11. English language proficiency: Evaluate your level and fill in with an X where appropriate in the following blanks.

(英語能力を自己評価のうえ、該当欄にX印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
Reading (読む能力)				
Writing (書く能力)				
Speaking (話す能力)				

12. Foreign language proficiency: Evaluate your level and fill in with an X where appropriate in the following blanks.

(外国語能力を自己評価のうえ、該当欄にX印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
French (仏語)				
German (独語)				
Spanish (西語)				

13. Accompanying Dependents (Provide the following information if you plan to bring any of family members to Japan)

同伴家族欄 (渡日する場合、同伴予定の家族がいる場合に記入すること。)

* All expenses incurred by the presence of dependents must be borne by the grantee. He/She is advised to take into consideration various difficulties and great expense that will be involved in finding living quarters. Therefore those who wish to accompany their families are well advised to come alone first and let them come after a suitable accommodation has been found.

(注) なお、同伴者に必要な経費はすべて留学生の負担であるが、家族用の宿舎を見つけることは相当困難であり、賃貸料も非常に割高になりますのであらかじめご承知下さい。このため、留学生はまず単身で渡日し、適当な宿舎を見つけた後、家族を呼び寄せることをお勧めします。

Name (氏名)	Relationship (続柄)	Age (年齢)

14. Is there anyone in your family who has been awarded or is applying for the Japanese Government Scholarship? If yes, his/her name here.

(家族の中に国費外国人留学生に採用されている者、もしくは申請中の者があるか。もし、あるならば、その者の氏名を必ず記入すること。)

Name: _____ (awarded/applying)

Relationship: _____

15. Have you been awarded the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship in the past? If so, please specify the period, the name of the university, etc.

(過去に国費留学生に採用されたことがあるか。あるならば、その期間及び受入大学名等を記入すること。)

a) Yes, I have. Period: _____
(ある。) (期間)

University: _____
(大学名等)

b) No, I have not.
(ない。)

16. Person to be notified in applicant's home country, in case of emergency:

(緊急の際の母国の連絡先)

i) Name in full:
(氏名) _____

ii) Address: with telephone number, facsimile number, e-mail address
(住所：電話番号、ファックス番号又は E-mail アドレスを記入のこと。)

現住所 (Present address): _____

電話番号/FAX番号 (Telephone/Facsimile number): _____

E-mail address: _____

iii) Occupation:
(職業) _____

iv) Relationship:
(本人との関係) _____

17. Immigration Records to Japan (日本への渡航記録)

Date (日付)	Purpose (渡航目的)
From To	
From To	

Date of application:
(申請年月日)

Applicant's signature:
(申請者署名)

Applicant's name
(in Roman block capitals):
(申請者氏名)

APPLICATION FOR JAPANESE GOVERNMENT (MONBUKAGAKUSHO: MEXT) SCHOLARSHIP (ATTACHMENT)
 日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書（別紙）
 Research Student for 2009（研究留学生）

1. Name in full, in Roman block capitals（姓名を記入、ローマ字で表記）

_____, _____, _____
 (Family name) (First name) (Middle name)

(Sex)

Male（男）

Female（女）

2. Date of birth（生年月日）

19_____
 Year（年） Month（月） Day（日） Age, as of April 1, 2009
 （2009年4月1日現在の年齢）

3. Nationality（国籍）

4. Present address, telephone and facsimile number, E-mail address

（現住所及び電話、ファクシミリ番号、Eメールアドレス）

Paste your passport-size
 photograph taken within
 the past 6 months.
 Write your name and
 nationality in block letters
 on the back of the photo.

写真（6 cm × 4 cm）

5. The institution you have graduated/will graduate.（卒業した、あるいは卒業予定の機関）

Institution（機関）	Year（年）	Month（月）
Conferred Degree: （取得学位）	a) Bachelor Degree （学士）	b) Master's Degree （修士）
		c) Doctoral Degree （博士）

6. Field of study in Japan（日本での専攻希望）

7. Term you wish to study in Japan（日本における希望留学期間）

- | | |
|---|-------------------------|
| a) Only a research student's term (Maximum period of One year six months) | 研究生（最長1年6ヶ月） |
| b) By the end of master course (_____ Years) | 修士課程修了まで (_____ 年間) |
| c) By the end of doctoral course (_____ Years) | 博士課程修了まで (_____ 年間) |
| d) By the end of professional graduate course (_____ Years) | 専門職学位課程修了まで (_____ 年間) |

8. If you are applying for other scholarships, state the name of sponsor, duration, amount, etc.

（もし他の奨学金に応募している場合は、その名前、期間、金額等を記すこと。）

9. Have you been awarded a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past? If so, please give the period, the name of the university, etc.

（過去に国費留学生に採用されたことがあるか。あるならば、その期間・受入学校名等を記入のこと。）

- i) Yes, I have. Period: _____ University: _____
 (ある)
- ii) No, I have not.
 (ない)

Field of Study and Proposed Study Program

専攻分野及び研究計画

Applicant's Name in full

(姓名)

_____ , _____ , _____
Family name

First name

Middle name

Nationality

(国籍)

Since graduate research is self-directed, this section will become one of the most important criteria in the selection process. State the outline of your major field of study and of your academic interest on this sheet in English and the details of your proposed research program on the next attached sheet. Statement must be typewritten or written in block letters.

(修士課程での研究は自発的なものであり、この研究計画は、選抜過程において最も重要な判断基準の一つとなる。この頁には、専攻分野の概要および研究関心を、次頁には、日本での研究計画の詳細を記入すること。記入は、タイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は、別紙を追加してもよい。)

If you have Japanese ability, write in Japanese.

(相当の日本語能力を有する者は日本語で記入すること)

1. Field of Study (専攻分野)

State briefly the areas of your study and of your academic interest within 1,000 words.

(専攻分野の概要および研究関心を2,000字以内で記入のこと)

2. Proposed Study Program in Japan in detail (研究計画：詳細に記入すること。)

Describe details of your research proposal, discussing one possible research topic. In addition, indicate the background and purpose of your study at this program, and explain how this research and study connects with what you have done in the past and how it relates to your long-term goals. Your entire statement should be within 1,500 words. Additional sheets of paper may be attached, if necessary.

(研究予定の一つの論題について検討し、研究計画の詳細を記述すること。そして、過去の研究といかに関連し、将来の目標と結びつくかを説明し、本コースにおける研究の背景と目的を示しなさい。なお、文章は、全体で3000字（日本語）以内でなければならない。また、必要ならば、用紙を追加してもよい。)

Title of your proposed master's thesis (修士論文の研究課題)

Applicant's Name in full

(姓名)

_____ , _____ , _____
Family name

First name

Middle name

Nationality

(国籍)

Evaluation of English Language Proficiency 語学力評価書 (英語)

※ A teaching staff in charge of English education or the equivalent must complete this form.
(英語教師あるいは準ずる者が記入すること)

Applicant's Name _____
(姓名)

1. Evaluation of applicant's ability in English ※Please check the appropriate space below
(英語能力診断 ※該当欄をチェックすること)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不十分)	No ability (不可)
Speaking (話す能力)					
Listening (聞く能力)					
Writing (書く能力)					
Reading (読む能力)					

2. Method used to test the applicant's ability (能力評価法)

3. Has the applicant ever taken the TOEFL test (Test of English as a Foreign Language), IELTS (International English Language Testing System), or TOEIC (Test of English for International Communication)?

(過去に TOEFL、IELTS、TOEIC を受験したことがあるか。)

- i) Yes (Please attach an official score report of the test, if available)
(ある)

Official name of the test: _____
(テストの正式名)

Score: _____, Date: _____ day _____ month _____ year
(点数) (日付) (日) (月) (年)

- ii) No
(ない)

4. Remarks (コメント)

Date _____ Name / Signature _____
(日付) (評価者名 / 署名)

Affiliation / Title _____
(所属 / 身分)

Address _____
(住所)

Evaluation of Japanese Language Proficiency 語学力評価書 (日本語)

※ A teaching staff in charge of Japanese education or the equivalent must complete this form.
(日本語教師あるいは準ずる者が記入すること)

Applicant's Name _____

(姓名)

1. Evaluation of applicant's ability in Japanese ※Please check the appropriate space below

(日本語能力診断 ※該当欄をチェックすること)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不十分)	No ability (不可)
Speaking (話す能力)					
Listening (聞く能力)					
Writing (書く能力)					
Reading (読む能力)					

2. Method used to test the applicant's ability (能力評価法)

3. Has the applicant ever taken the Japanese Language Proficiency Test?

(過去日本語能力試験を受験したことがあるか。)

i) Yes (Please attach an official test score report, if available)

(ある)

Score: _____, Date: _____ day _____ month _____ year
(点数) (日付) (日) (月) (年)

ii) No

(ない)

4. Remarks (コメント)

Date _____

(日付)

Name / Signature _____

(評価者名 / 署名)

Affiliation / Title _____

(所属 / 身分)

Address _____

(住所)

Letter of Recommendation 推薦状

To: Dr. HIRANO Shinichi
President of Nagoya University

※To the RECOMMENDER: Please write a statement concerning the applicant, stating how long and in what connection you have known him/her, your evaluation of his/her character, your speculation on the applicant's potential for success as a graduate student and his/her potential for independent research (use space below)

On behalf of

(Name of Applicant):

_____ , _____ , _____
Family First Middle

Signature _____ Date _____

Recommender's Name _____

Position _____

Institution _____

Relationship to Applicant _____

Address _____

Phone Number _____ Fax Number _____

E-mail _____

We highly appreciate the time and effort that you have taken to provide us with these comments.

Please return to applicant after sealing it by yourself.

健康診断書

CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

受診者氏名
Applicant's Name:
Family name First name Middle name
男 Male 生年月日
女 Female Date of Birth: 年齢
Age:

1. 身体検査

Physical Examinations

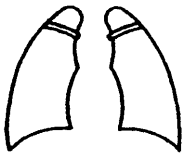
(1) 身長 体重
Height cm Weight kg

(2) 血圧 血液型
Blood pressure mm/Hg ~ mm/Hg Blood Type A B O RH + -
脈拍 整 regular
不整 irregular

(3) 視力
Eyesight: (R) (L)
裸眼 without glasses
色覚異常の有無 正常 normal
異常 impaired

(4) 聴力 正常 normal 言語 正常 normal
低下 impaired Speech: 異常 impaired

2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること(6ヶ月以上前の検査は無効。)
Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest x-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 正常 normal
Lung: 異常 impaired

心臓 正常 normal
Cardiomegaly: 異常 impaired

Date
Film No.

Describe the condition of applicant's lung.

異常がある場合
心電図 Electrocardiograph: 正常 normal
異常 impaired

3. 現在治療中の病気
Disease Treated at Present Yes (Disease:)
No

4. 既往症

Past history : Please indicate with + or - and fill in the date of recovery.

Tuberculosis () Malaria () Other communicable disease ()
Epilepsy () Kidney Disease () Heart Diseases ()
Diabetes () Drug Allergy () Psychosis ()
Functional Disorder in extremities ()

5. 検査 Laboratory tests

検尿 Urinalysis: glucose (), protein (), occult blood ()
赤沈 ESR: mm/Hr, WBC count: /cmm 貧血 anemia
Hemoglobin: gm/dl, GPT:

6. 診断医の印象を述べて下さい。
Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか?
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan?
yes no

日付 署名
Date: Signature:

医師氏名
Physician's Name in Print:

検査施設名
Office/Institution:
所在地
Address:

Notice to Withdraw 辞退届

TO: Dean, Nagoya University Graduate School of Law, Japan

I respectfully wish to withdraw my Application for the LL.M. (Comparative Law) Program for International Students in Law and Political Science. I sincerely apologize for any inconvenience this will cause.

I understand that if this Notice to Withdraw is received by the Nagoya University Graduate School of Law **no later the close of business on Thursday, March 19, 2009**, I will be free to reapply in future years.

Date: _____
Day Month Year

Applicant's Signature: _____

Applicant's Name in Roman Block Capitals:

This is to certified by the institution which recommended the applicant to the Program:

Signature _____

Name _____

Institution and position _____

Contact address

Phone Number _____ Fax Number _____

E-mail _____

※ This notice must be sent by registered airmail to:

Student affairs section of the administrative office, Graduate School of Law, Nagoya University, B4-5 (700), Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, JAPAN

(Fax: +81[Japan]-52-789-4910).